

事務用品の中に付箋があります。この便利な付箋は失敗から生まれたアイデア商品でした。強力な接着剤を作ろうとしていた研究者がいました。その人は何度も失敗を繰り返していました。接着力が弱い接着剤ができてしまった時、発想の転換をしました。そして貼り付けと剥がしを繰り返せる付箋に結びつきました。なぜ付箋のようなものを生み出したのでしょうか。それは研究者は①研究が好きでやっていた。すなわち研究をする事が喜びでした。②何度も失敗しても諦めないという特徴を見出せます。このように研究が好きで、その中に喜びを見い出してやっている研究であれば、心に余裕が生まれどんな失敗にも諦めずに進む事ができました。しかし何か1つの事が原因となり、全てが悪くなることもあります。最近、ごみ屋敷と呼ばれTVで報道されてしまうような状態になるのも、最初にきっかけとなる1つの事があったのです。今日読んだ聖書は有名な放蕩息子です。父、兄、弟が出てきます。彼らの特徴をいくつかあげてみましょう。父…①忍耐して弟の帰りを待っている。②弟が帰って来ると信仰を持っている。③帰ってきた時のために備えをしていた。(服や指輪などを用意している) 兄…①願いを心にためる人。②楽しみがない人。③不満を持っていた。④諦めている人。弟…①願いとおりに進む人。②諦めない人。③楽しみがない人。④先が見えない人。このように兄と弟はとても似ています。父との生活に満足をしていません。楽しめてもいません。違いとしては兄は不満を抱いても心に溜め込んだままですが、弟はそれを行動に表していける人でした。そしてこの列挙した事に対して自分をチェックしてみましょう。諦めはないですか。楽しんでいますか。不満を溜め込んでいないですか。将来が見えなくなっていないですか。このように私たちは自分の中で同じような状態を認めるならば、父の待っている帰る場所に向かわなければなりません。父は神さまを表しています。私たちの父なる神の元へ素直にいきましょう。そして悪循環の元となる原因から抜け出しましょう。そのために**①喜びを感じる**。「いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。(ピリピ4:4)」私たちが喜ぶことは主からの命令です。喜べる事があった時だけと条件が付いているではありません。私たちは今ある生活、仕事、環境の中から喜びを見出せます。喜んでいる人はもっと喜びをみつけましょう。これが悪循環から抜け出す一歩になります。喜びましょう。**②心の備えです**。「また、まことのいのちを得るために、未来に備えて良い基礎を自分自身のために築き上げるように。(Iテモテ6:19)」私たちは未来に向けて良い基礎を築く必要があります。基礎は何のために必要でしょうか。基礎の上には家が建ちます。神さまは将来、私たちがどのような家を建てるように計画していますか。私たちにはそれぞれ働きが託されています。そのために良い基礎が必要なのです。悪循環も将来のために備えとして取り除いていきましょう。そして放蕩息子を待っている父のように**③諦めない**。父は諦めませんでした。来る日も来る日も待っていました。忍耐することと諦めることは違います。忍耐とは先を見続けています。帰ってくる息子を待ち続ける事が忍耐です。父が諦めたのなら、遠くの方にいる息子には気づかなかっただしょう。この姿はイエスキリストに見る事ができます。十字架の道を諦めることなく、痛みと苦しみ、恥に耐えぬき、全うしました。ここに諦めていない姿を見る事ができます。私たちもイエスの姿に習い諦めない生き方をしましょう。私たちには帰る所があります。悪循環に陥ったとしてもそこから抜け出し、父の元へ近づいていく事ができます。神は諦めず、待っていて下さいます。前へ向かって歩みだしましょう。